令和８年１１月１７日
総務常任委員会資料
危　機　管　理　室

宇治市地域防災リーダーの今後の取組について

近年の自然災害の激甚化、頻発化とともに、地域コミュニティの希薄化が進む中、自主防災活動の組織率の向上や活性化が重要となっており、地域防災活動の中心的な担い手となる地域防災リーダーを小学校区ごとに登録し、地域防災力の強化を図ってまいりたいと考えております。

１　地域防災力向上の目標

（１）地域防災力の底上げ

町内会・自治会の活動が困難な地域や、これから新たに防災活動に取り組む地域等を重点的に支援するため、小学校区ごとに災害の特性に応じた避難マニュアルのモデル等を作成し、町内会・自治会での避難マニュアル・タイムラインの作成につなげ、自主防災活動の活性化を図ります。

（２）先進的な自主防災組織の更なる活動促進

自主防災リーダーに加え、防災士などの専門的な防災知識を持つ人材も地域防災リーダーに登録することで、先進的に取り組んでいる自主防災組織に新たな知見を提供し、更なる活動促進を図ります。

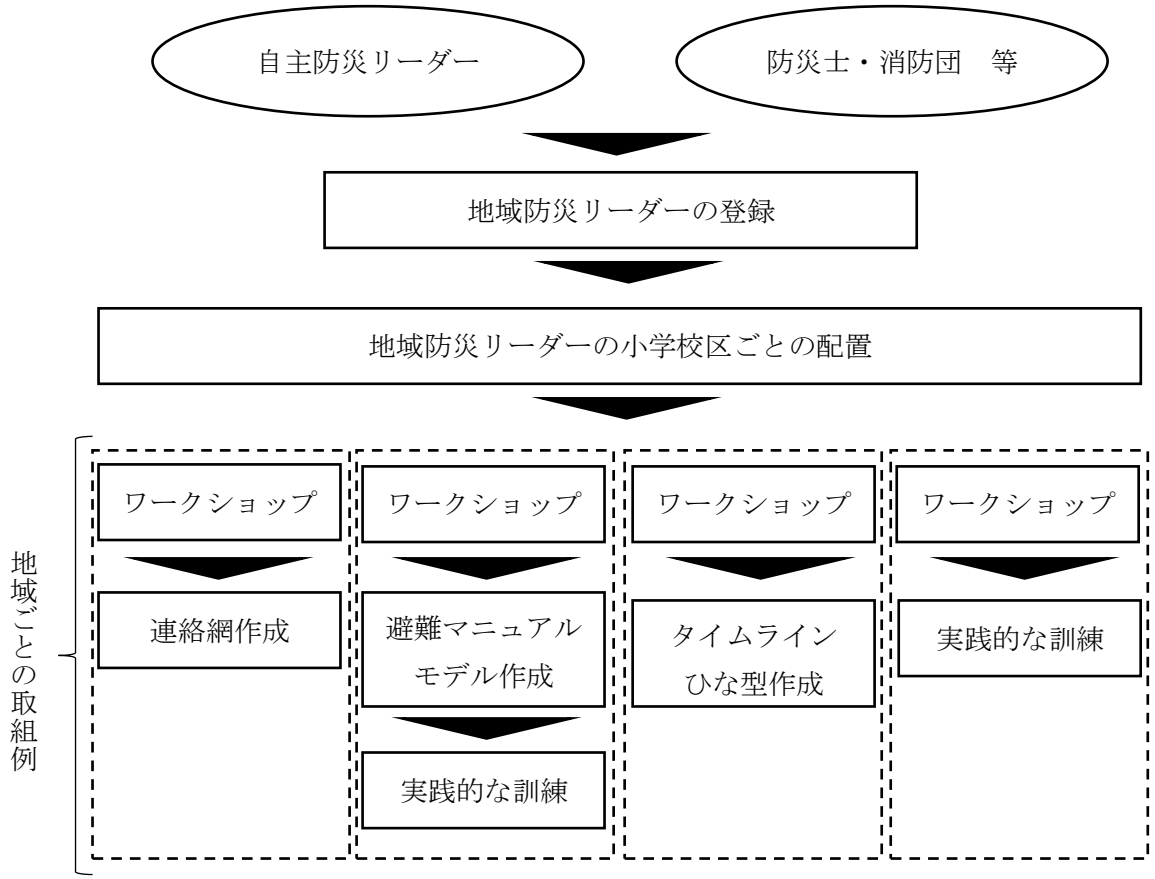
（３）災害時における対応力の強化

災害時に中心的な役割を担う地域防災リーダーの育成を図ります。

２　地域防災力向上に向けた取組

（１）小学校区ごとに地域防災リーダーを配置
（２）小学校区や町内会・自治会ごとのワークショップ開催
（３）各校区における災害リスクや地域特性、危険箇所の共有
（４）地域における自主防災活動事例の共有
（５）地域の状況に応じた取組内容の検討
（６）各校区のモデルとなる避難マニュアルやタイムラインのひな型の作成
（７）地域ごとの避難マニュアル等の作成を支援
（８）市職員や関係機関との連携訓練の実施

＜地域防災リーダーの登録・配置、地域ごとの取組例＞



３　今後の予定

・現在、自主防災リーダーや市内防災士等の地域防災リーダーへの登録を受付中
・令和８年中を目途に、地域防災リーダーの小学校区へ配置を開始
・令和９年２月頃に、地域防災リーダーの認証式を開催
・以降、小学校区や町内会・自治会ごとにワークショップを開催し、取組を進める